

りんぎょうぎのうそくていしけん
林業技能測定試験
がっかしけん もんだいれい
(学科試験 問題例及び解答)

30

ア 試験時間 60分

イ 問題数 30題

ウ 解答の方法 (真偽法) は次のとおりです。

- ① 一つ一つの問題が正しい (○) か、誤っている (×) かを判断して解答してください。
- ② 答案用紙へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
- ③ 問題を持ち帰ることはできません。

- 1 裸苗は、コンテナ苗と比較して育苗期間を短縮できる。
- 2 良い苗の見分けの条件は、根と芯の2つで十分である。
- 3 造林木の幹折れや幹曲がりを防ぐうえでも、つる切りは有効である。
- 4 つる切りの効果が大きい季節は、6～7月頃である。
- 5 筋刈り地拵えは、全刈りに比べて人工数の削減につながらない。
- 6 正三角形植えは、雪の多い地帯では冠雪害による共倒れを防ぐのに効果がある。
- 7 植え穴に入れる土は、斜面であれば斜面上側を崩して入れるとよい。
- 8 下刈りの方法には、全刈り、筋刈り、坪刈りがある。
- 9 下刈り作業で太いかん木や雑木を処理する場合は、かまを使用して処理するとよい。
- 10 下刈りは、等高線に沿って斜面に向かって右から左に横移動する作業が一般的である。
- 11 除伐作業は、目的樹種以外の樹種のみ除去する。

12 枝打ちの時、のこぎりを使用すると、切断位置を正確にすることができる。

13 枝打ち作業時に、下図のように枝下部分の太った枝の切断位置はbである。



14 伐倒前の確認には、伐倒方向を確認して、風の方角を確認し、伐倒方向に人がいないことを確認する。

15 伐倒前の準備作業では、かん木、枝条、ササ等、伐倒の際に危険が生じるおそれのあるものは取り除く。

16 伐倒前には、あらかじめ退避場所を決定し、退避ルート上に障害物があればあらかじめ取り除いておく。

17 チェーンソーによる枝払い作業は、チェーンソーの底部を支点とし、この要領で操作し枝払いするとよい。

18 枝払いは、枝元が膝から腰までの間の高さにあると作業がしやすい。

19 枝払いは、チェーンソーを身体の近くに寄せて作業すれば、背中にかかる緊張が少なくなる。

20 下図は、片持ち材の玉切り手順を示したものである。



(注) ①、②は玉切りの手順を示す。

- 21 玉切り作業は、造材木の転動に注意し、必ず造材木の斜面上部で行う。
- 22 人力で、材を引きずって木寄せするときは、とびを使用してはならない。
- 23 とびを使うときは、とびの柄に手を絡ませて引くと力が入りやすい。
- 24 チェーンソーの使用に当たっての基本的な姿勢は、前ハンドルと後ハンドルに親指を回して確実に保持することである。
- 25 チェーンソーの規格は、労働安全衛生法関係法令に規定されている。
- 26 下図は、刈払機のチップソーの刈刃である。



- 27 肩掛式刈払機は、一般的にループ型ハンドルである。
- 28 職場で、整理・整頓・清掃・清潔を徹底する活動を4S活動という。
- 29 労働災害の発生を発見した作業者は、直ちに被災者の状況等を連絡責任者に連絡する。
- 30 熱中症の救急対策として、1人作業はできるだけ避ける。

せいかいひょう
《正解表》

もんだい 問題	せいかい 正解	もんだい 問題	せいかい 正解	もんだい 問題	せいかい 正解
1	×	11	×	21	○
2	×	12	○	22	×
3	○	13	×	23	○
4	○	14	○	24	○
5	×	15	○	25	○
6	○	16	○	26	×
7	○	17	○	27	×
8	○	18	○	28	○
9	×	19	○	29	○
10	○	20	○	30	○

sample